

令和3年度

定 時 総 会 資 料

期日:令和3年6月23日(水)
会場:ホテルラフレさいたま

公益社団法人

さいたま観光国際協会

Saitama Tourism and International Relations Bureau

目 次

報告事項

令和2年度 事業報告	1
------------	---

議案

議案第1号

令和2年度 決算報告について	10
----------------	----

議案第2号

事務所の移転について	23
------------	----

議案第3号

役員（理事・監事）の選任について	24
------------------	----

参考資料

令和3年度事業計画	26
-----------	----

令和3年度収支予算	31
-----------	----

功労者表彰	36
-------	----

事業報告

令和2年度 公益社団法人さいたま観光国際協会事業報告書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

さいたま市及びその周辺地域における観光、コンベンション事業及び国際交流、国際協力事業の振興を図り、文化向上と、多文化共生の社会づくりを促進し、地域社会の発展とともに、国際化に資することを目的とする。

(2) 概況

- ① 設立年月日 平成3年4月6日(平成25年10月1日公益社団法人へ移行)
- ② 基本財産 2億2,020万円
- ③ 実施事業

内外観光客及びコンベンションの誘致促進、開催支援並びに広報宣伝
観光及びコンベンションに関する調査研究並びに情報の収集・提供
観光及びコンベンション振興のためのイベント等の開催並びに観光・物産の開発・振興
国際交流、国際協力に関する多文化共生事業
国際交流センター、観光案内所その他関連施設等の管理及び運営
その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数(令和3年3月31日現在)

- 会 長 1人
- 副 会 長 2人
- 専務理事 1人
- 常務理事 2人
- 理 事 23人
- 監 事 3人

(2) 理事・監事

- ① 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異動事項
令和2年6月21日	副 会 長	佐 伯 鋼 兵	辞 任
令和2年6月21日	理 事	田 中 徹 夫	辞 任
令和2年6月21日	理 事	山 口 宏 樹	辞 任
令和2年6月22日	副 会 長	池 田 一 義	就 任
令和2年6月22日	専務理事	岡 村 彰	就 任
令和2年6月22日	理 事	坂 井 貴 文	就 任

② 令和3年3月31日現在の理事・監事は次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
会 長 (代表理事)	筑 波 伸 夫	令和元年6月24日
副 会 長 (代表理事)	池 田 一 義	令和2年6月22日
副 会 長	中 村 裕 二	平成30年6月26日
専務理事	岡 村 彰	令和2年6月22日
常務理事	吉 住 俊 幸	平成29年6月20日
常務理事	中 島 マリ子	令和元年6月24日
理 事	新 井 久 夫	平成28年6月20日
理 事	新 井 康 裕	令和元年6月24日
理 事	泉 名 宣 男	平成26年6月27日
理 事	岩 渕 均	平成25年6月24日
理 事	大 森 好 治	令和元年6月24日
理 事	金 子 義 人	平成26年6月27日
理 事	久 世 晴 雅	平成25年6月24日
理 事	桑 原 一 男	令和元年6月24日
理 事	小 宮 康一郎	令和元年6月24日
理 事	坂 井 貴 文	令和2年6月22日
理 事	染 谷 典 子	令和元年6月24日
理 事	大 郷 恒 吉	平成29年6月20日
理 事	高 橋 三 男	平成25年6月24日
理 事	多 胡 彰	平成30年6月26日
理 事	千 枝 直 人	令和元年6月24日
理 事	中 村 隆 志	平成27年6月23日
理 事	橋 本 和 久	平成25年6月24日
理 事	濱 野 博 美	平成25年6月24日
理 事	東角井 真 臣	平成25年6月24日
理 事	日 野 俊 彦	平成25年6月24日
理 事	本 田 秋 満	平成25年6月24日
理 事	宮 城 利 久	平成30年6月26日
理 事	山 崎 均	平成29年6月20日
監 事	荒 井 伸 夫	平成25年6月24日
監 事	井 原 實	平成25年6月24日
監 事	鈴 木 孝	平成25年6月24日

3 会員数の状況

種 類	前年度末	当年度末	増 減	備 考
正会員 うち法人・団体会員	881 (755)	881 (758)	(0) (3)	法人・団体 入会42 退会39
うち個人会員	(126)	(123)	(△3)	個人 入会3 退会6
賛助会員	339	288	(△51)	入会17 退会68

4 理事会及び総会の開催

(1) 理事会

開催日時	議決事項等
令和2年6月2日 (第1回理事会)	(議題) 議案第1号 令和元年度 事業報告について 議案第2号 令和元年度 決算報告について 議案第3号 理事の選任について 議案第4号 功労者表彰の選考について 議案第5号 令和2年度定時総会の開催及び日程について
令和2年6月22日 (第1回臨時理事会)	(議題) 議案第6号 副会長、専務理事の互選について
令和3年3月 (第2回理事会) ※書面決議	(報告事項) 令和2年度事業執行状況について (議題) 議案第7号 令和3年度 事業計画について 議案第8号 令和3年度 収支予算について 議案第9号 諸規則の一部を改正する規則の制定について 議案第10号 事務局長の任命について

(2) 総会

開催日時	議決事項等
令和2年6月22日 (定時総会)	(報告事項) 令和元年度事業報告 (議題) 議案第1号 令和元年度決算報告について 議案第2号 規則の一部を改正する規則の制定について 議案第3号 理事の選任について

5 職員の状況

令和3年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

区 分	事務 局長	課長・ 所長	課長補佐・ 所長補佐・ 主幹	総括主査・ 主査	主任	主事	契約・ 臨時・ 嘱託	合計
事務総括	1							1
総務課			1				1	2
内総務・財務G			1		2			3
会員サービスG			1					1
SSCへ出向			1	2				3
観光事業課		1						1
内イベント事業G			1	2	1	4		8
内MICE推進事業G				2				2
内誘客事業G				1		2	1	4
内販売G			(1)					(1)
国際交流センター		1	1				5	7
観光案内所							11	11
合 計	1	2	6	7	3	6	18	43

※販売G主幹は会員サービスG主幹の兼務

6 事業の実施状況等

【公益目的事業】

(1) 観光等振興事業(公益目的事業1)

■観光事業

①観光振興事業

地域観光振興事業・団体等への助成、支援（17 団体）

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加（そびあ観光物産 PR コーナー出展）

花の名所の維持管理（5 箇所）

観光ボランティア団体との連携（3 団体）

②推奨土産品認定事業

推奨土産品の選定、広報及び販売経路の拡充（50 品目）

（埼玉県物産観光フェア、Pickup 埼玉、市健康マイレージ）

③観光イベント事業

岩槻城址公園桜まつり コロナの影響のため中止

さくら草まつり コロナの影響のため中止

大宮薪能 コロナの影響のため中止

人形のまち岩槻朝顔市 コロナの影響のため中止

浦和まつり前夜祭 コロナの影響のため中止

浦和まつり中山道会場（みこし渡御、音楽パレード・浦和おどり） コロナの影響のため中止

与野夏祭り コロナの影響のため中止

十日市 コロナの影響のため中止

十二日まち コロナの影響のため中止

さいたまるしえ（クリテリウム時、マーチ時） コロナの影響のため中止

④観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

さいたま市観光振興ビジョン実現に向けた協力

（一社）秩父観光協会、（公社）小江戸川越観光協会との観光連携に伴う事業の具体化

さいたま市の東日本連携事業への協力

⑤事務局受託事業

ばらまつり コロナの影響のため中止

大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり） コロナの影響のため中止

さいたま市花火大会（大和田、東浦和、岩槻） コロナの影響のため中止

頑張ろう！さいたま市！最大20%戻ってくるキャンペーン

■コンベンション事業（MICE 推進事業）

①誘致支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動の推進 コロナの影響により市内のみ

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供 コロナの影響により多くが中止・延期

観光マップ1件・100部、観光ガイドブック1件・100部、コンベンション不織布バッグ
1件・100枚

②情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、効率的にセールス活動が行えるよう管理・更新を行った。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集 コロナの影響のため中止

③経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

令和元年度における年間開催件数を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、年間経済波及効果報告書の基礎資料を作成した。

④コンベンション開催助成金制度の実施 コロナの影響により多くが中止・延期

本市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、「コンベンション開催助成金」として、1件450,000円を助成した。(第21回日本病院総合診療医学会学術総会)

■広報宣伝事業（誘客事業）

①広報宣伝活動

観光プロモーション「さいたま歩きが楽しくなる見るガイドブック」Web ページ・動画公開

観光 PR ポスター作成（4 種類・各 200 部）

テレビ、新聞・タウン誌、Web 等の取材対応（53 件）

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどの紹介

大宮盆栽プロモーション（Facebook フォロワー100,389）

秩父・川越観光協会との連携事業（まるまるひがしにほん「Pick up 埼玉」にて観光 PR）

②インターネットによるシティセールス

日本語公式 Web サイト、多言語公式 Web サイト（Saitama City near Tokyo Visitors Guide）

及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR（1,830,883 ページビュー）

「#StayHome さいたま」によるデリバリー・テイクアウト情報などステイホーム時間を充実させる情報の発信

メディア用貸出画像「フォトギャラリー」ページの改修

ツイッター「@SaitamaTIB」や Facebook ページなどソーシャルネットワークを活用した、

観光情報の発信（ツイッター10,364 人、Facebook3,322 人）

■観光案内所運営事業

①観光案内所等の管理運営

大宮駅観光案内所(JR大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所(JRさいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所(アトレ浦和内)、岩槻観光案内所（東武岩槻駅自由通路内）の運営。

・観光案内業務

・各種パンフレット配布業務

・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

(2)多文化共生、国際相互理解促進事業(公益目的事業2)

■国際交流事業

①国際推進事業

多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

生活相談では、コロナに関する相談や日本語学習支援に関する相談に対応した。

相談日及び件数：中国語(毎週火曜日) 12件（前年:17件）、英語（毎週水曜日）8件（前年:0件）

韓国・朝鮮語（毎週木曜日）5件（前年:4件）

簡易生活相談（毎週月曜日～木曜日）74件（前年:84件）

ボランティア(通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント)派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣及び国際交流イベント等へのIECボランティアの募集と活動を行った。ホストファミリーはコロナの影響のため関連事業が中止となった。

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	649人（前年:619人） （20言語 延べ778人） （前年:20言語 延べ747人）	通訳6人 （前年:75人） 翻訳94人 （前年:104人）
ホストファミリー	347家庭（前年:346家庭）	コロナの影響のため関連事業中止 （前年:78家庭）
IECボランティア	登録者実数1,021人（前年:937人）	37人 （前年:463人）

外国人への日本語支援事業

在住外国人のための日本語教室を国際交流センター（浦和コース）及び大宮区役所内（大宮コース）でコロナ感染防止策を講じてオンライン等で一部開催し、日本語習得の支援や行政・生活情報を提供した。

参加者総数：1,281人（前年:5,613人）（学習者162人 前年:2,380人、要保育児1人 前年:235人、スタッフ等1,118人 前年:2,998人）

○教室別内訳

《浦和コース》985人（学習者155人、要保育児0人、スタッフ等830人）

午前保育付コース 544人（学習者69人、要保育児0人、スタッフ等475人）

子どもコース 219人（学習者36人、スタッフ等183人）

夜一般コース 222人（学習者50人、スタッフ等172人）

《大宮コース：午前保育付コース》296人（学習者7人、要保育児1人、スタッフ等288人）

外国人市民に向けた地域・生活情報の提供（多言語生活情報誌「ぷらら」の発行）

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を5言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）で発行した。（71号：6月、72号：6月、73号：9月、74号：12月、75号：3月、計11,725部発行）

国際友好フェア

市民及び市内在住外国人等による各種展示・発表等を行う予定だったが、コロナの影響のため中止とした。

外国人による日本語スピーチ大会

在住外国人と市民の相互理解を深めるため、2月6日（土）に「Stay Homeで見つけた幸せ」をテーマにオンラインでの開催の準備を行ったが、コロナの影響のため中止となった。（出場予定者：8人）

国際交流センター情報誌「IEC News」特別号を発行し、出場予定者の原稿を掲載した。

姉妹都市交流事業

2年度はスポーツ少年団派遣事業として、アメリカ合衆国リッチモンド市に野球少年団と、メキシコ合衆国トルカ市にサッカー少年団を派遣する予定をしていたが、コロナの影響のため中止とした。市民訪問団派遣事業として、ニュージーランドハミルトン市への市民訪問団の派遣を計画したが、コロナの影響のため中止とした。

国際ふれあいフェア

さいたま市の姉妹・友好都市を中心に、各国の文化などを紹介し、異文化理解の推進を図る予定だったが、コロナの影響のため中止とした。

②国際交流事業

国際交流センター情報誌発行

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センターの事業や各種国際交流関係の情報を3回（6月、12月、3月）発行した。更に今年は外国人による日本語スピーチ大会の中止を受け、出場予定者のスピーチ内容などを掲載した特別号（3月）を新たに発行した。（各号2,500部発行）

ボランティア養成講座

ボランティアが独自に作成した動画（さいたま市の観光スポット）を視聴した後に、観光案内を行う際に役立つ情報を受講者に提供し、今後のボランティア活動に活かしてもらう養成講座を企画したが、コロナの影響のため次年度に延期した。

また防災訓練等の活動については、コロナの影響のため不参加とした。

ユース国際ボランティア養成

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心とした、ユース国際ボランティアメンバーによる養成事業として、「世界を知ろう、ユースミニ講座（インド編）」を企画したが、コロナの影響のため次年度に延期した。

次世代育成セミナー

高校・大学生世代を対象に、日本の伝統・文化やさいたま市の魅力を理解するイベント等を通じて、さいたま市における青少年育成のための国際社会への意識の高揚を図るため、「雛人形と水引飾りを一緒に作りませんか？」を企画したが、コロナの影響のためオンラインでの開催に変更して次年度に延期した。

日本語ボランティア養成講座

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティア養成講座入門編を企画したが、コロナの影響のため中止としたが、オンラインでの講座に切替え実施した。

（入門編）コロナの影響のため中止

（オンライン入門編）計6回

日 程：11月28日（土）：対面

12月5日（土）・12月12日（土）・12月19日（土）・1月16日（土）・1月23日（土）：オンライン

会 場：コムナーレ10階第13集会室（11月28日（土）のみ）・オンライン

参加人数：受講生：39人、講師：1人、アシスタント：1人、事業スタッフ：5人

日本語国際センター研修生との交流

日本語国際センターの研修生と会員との交流を通じ、研修生にさいたま市への親近感を深めることを目的として交流会を企画したが、コロナの影響のため中止とした。

国際交流サロン交流会(はじめての会)

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的とした交流会を企画したが、コロナの影響のため中止とした。

国際交流サロン交流会(着付体験・交流会)

日本文化体験として外国人市民を対象に着物の着付け体験会を企画したが、コロナの影響のため中止とした。代替として、前回までの開催の様子を動画にまとめ、事業のPRと次回の参加を促した。

ホームビジット

ホストファミリーのホームステイ受入の準備体験と留学生の日本の家庭での生活体験を目的に企画したが、コロナの影響のため中止とした。

サロン企画事業(ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン)・異文化交流のための語学講座

国際交流サロンスペース(ぷらっとサロン)を利用し、コロナ感染防止策を講じて在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでの企画展示やCIRによるオンラインでの特別講座などを企画し一部実施した。

●ミニ講座 コロナの影響のため中止。

●サロンでの展示 国際交流センターの事業の活動内容を展示した。

●おしゃべりサロン(英語、韓国語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語 参加者：364人
前年：1,924人)

●CIRによるオンラインでの特別講座(英語、韓国語 参加者：27人)

●TwitterやHPで、コロナ関連などの情報を在住外国人へ提供した。

外国人市民への子育て支援

市内在住外国人の子育て支援事業のPR動画を作成して、事業のPRや次回の参加を促した。

姉妹友好都市等交流支援

海外姉妹友好都市とのオンライン会談に参加した。また、パートナーシップ都市とオンラインでの市民交流会を行った。

【トルーカ市オンライン会談】

日 程：6月24日（水）

【ハミルトン市オンライン会談】

日 程：2月15日（月）

【ナナイモ市オンライン会談】

日 程：2月18日（木）

【水原市市民オンライン交流会】

日 程：3月25日（木）

コムナーレ各施設との連携事業

さいたま市市民活動サポートセンターフェスティバルが、コロナの影響のため中止となり、連携する活動も中止となった。

③国際協力事業

さいたま市国際NGOネットワーク等、国際協力団体との連携事業

さいたま市国際NGOネットワークと共催で、2月28日（日）に「わくわくグローバルフェスタ2021」をオンラインでの開催を予定していたが、コロナの影響のため中止とした。

【収益事業等】

(1)収益事業

■物品販売事業

推奨土産品の販路拡大を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大により売上収益、販売手数料収益共に減収となった。

①観光グッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ売上 1,430,004円

②その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務

販売手数料収入 179,672円

(2)その他

■その他事業

①情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会において書面による情報交換を行った。

②会員サービス事業

会員拡大セールス活動（入会案内パンフレット・セールスグッズ作成配布）及び会員フォロー活動（セールス78件、フォロー15件）

会員向けセミナーの開催（9月29日）

③経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討

事業の見直しについて検討した。

④安全衛生管理事業

全職員を対象にしたストレスチェック等による職員の健康管理を行うとともに、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため執務室へのアクリル板の設置やテレワーク、週休日の振替など感染防止に努めた。

⑤その他

旧大宮図書館への事務所移転に関する協議を行った。（2021年秋頃移転予定）

令和２年度観光案内所案内件数内訳

(単位：件)

		浦 和		さいたま新都心		大 宮		岩 槻		合 計	
市 内 案 内	区分	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
	パンフレット	4,575	27	11,521	3	8,304	6	3,664	14	28,064	50
	小売店	3	1	1	0	0	0	140	22	144	23
	観光施設	367	20	226	18	1,596	23	810	21	2,999	82
	公共施設	226	12	502	2	1,879	5	787	7	3,394	26
	金融機関	61	1	273	0	2,349	0	19	1	2,702	2
	土産品・グッズ	2,422	352	281	8	0	0	32	3	2,735	363
	宿泊施設	62	5	116	1	387	5	16	2	581	13
	娯楽施設	22	1	25	1	171	1	3	0	221	3
	交通機関	175	1	344	2	6,881	21	439	2	7,839	26
	飲食店	178	12	132	4	2,141	3	190	10	2,641	29
	イベント	247	43	275	11	724	18	628	27	1,874	99
	店舗	693	39	466	2	12,226	13	109	4	13,494	58
	その他	1,236	125	1,289	21	10,860	31	4,672	162	18,057	339
	小計	10,267	639	15,451	73	47,519	126	11,509	275	84,746	1,113
市外案内		8	3	9	5	29	2	30	0	76	10
合計		10,275	642	15,460	78	47,548	128	11,539	275	84,822	1,123
前年度		23,563	1,307	32,559	186	207,693	369	18,208	333	282,023	2,195

(単位：人)

	浦和	さいたま新都心	大 宮	岩 槻	合 計
外国人対応	7	85	784	38	914
前年度	121	281	2,736	149	3,287

議案第 1 号

令和 2 年度 決算報告について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第 3 9 条の規定により、令和 2 年度公益社団法人さいたま観光国際協会決算報告について、次のとおり議決を求める。

令和 3 年 6 月 2 3 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会 長 筑 波 伸 夫

決 算 報 告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

貸 借 対 照 表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	0	0	0
普通預金	96,986,135	62,990,130	33,996,005
現金預金合計	96,986,135	62,990,130	33,996,005
(2) その他流動資産			
未収金	2,285,712	5,813,615	△ 3,527,903
立替金	1,007,910	685,982	321,928
前払金	152,084	296,016	△ 143,932
商品	191,462	210,869	△ 19,407
その他流動資産合計	3,637,168	7,006,482	△ 3,369,314
流動資産合計	100,623,303	69,996,612	30,626,691
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
出資金	220,200,000	220,200,000	0
基本財産合計	220,200,000	220,200,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	89,280,918	89,274,097	6,821
事業振興基金積立資産	7,097,478	7,096,767	711
特定資産合計	96,378,396	96,370,864	7,532
(3) その他固定資産			
什器備品	4	9	△ 5
リース資産	8,229,240	13,186,392	△ 4,957,152
その他固定資産合計	8,229,244	13,186,401	△ 4,957,157
固定資産合計	324,807,640	329,757,265	△ 4,949,625
資産合計	425,430,943	399,753,877	25,677,066
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	26,112,058	24,273,407	1,838,651
未払法人税等	120,000	120,000	0
未払消費税等	0	760,100	△ 760,100
預り金	37,287,110	8,736,168	28,550,942
流動負債合計	63,519,168	33,889,675	29,629,493
2. 固定負債			
退職給付引当金	139,795,069	133,421,738	6,373,331
リース債務	8,229,240	13,186,392	△ 4,957,152
固定負債合計	148,024,309	146,608,130	1,416,179
負債合計	211,543,477	180,497,805	31,045,672
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産合計	124,441,000	124,441,000	0
(うち基本財産への充当額)	(124,441,000)	(124,441,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	89,446,466	94,815,072	△ 5,368,606
(うち特定資産への充当額)	(89,446,466)	(94,815,072)	(△ 5,368,606)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	213,887,466	219,256,072	△ 5,368,606
負債及び正味財産合計	425,430,943	399,753,877	25,677,066

貸借対照表内訳表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業 会 計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
(1) 現金預金					
現金	0	0	0		0
普通預金	62,031,634	4,230,685	30,723,816		96,986,135
現金預金合計	62,031,634	4,230,685	30,723,816	0	96,986,135
(2) その他流動資産					
未収金	93,899	177,377	2,014,436		2,285,712
立替金	349,434	2,640	655,836		1,007,910
前払金	19,084	133,000	0		152,084
商品	0	191,462	0		191,462
その他流動資産合計	462,417	504,479	2,670,272	0	3,637,168
流動資産合計	62,494,051	4,735,164	33,394,088	0	100,623,303
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
出資金	0	0	220,200,000		220,200,000
基本財産合計	0	0	220,200,000	0	220,200,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	72,406,824	0	16,874,094		89,280,918
事業振興基金積立資産	7,097,478	0	0		7,097,478
特定資産合計	79,504,302	0	16,874,094	0	96,378,396
(3) その他固定資産					
什器備品	3	0	1		4
リース資産	6,673,914	0	1,555,326		8,229,240
その他固定資産合計	6,673,917	0	1,555,327	0	8,229,244
固定資産合計	86,178,219	0	238,629,421	0	324,807,640
資産合計	148,672,270	4,735,164	272,023,509	0	425,430,943
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	11,524,573	241,129	14,346,356		26,112,058
未払法人税等	0	0	120,000		120,000
未払消費税等	0	0	0		0
預り金	37,117,449	40,920	128,741		37,287,110
流動負債合計	48,642,022	282,049	14,595,097	0	63,519,168
2. 固定負債					
退職給付引当金	113,373,801	0	26,421,268		139,795,069
リース債務	6,673,914	0	1,555,326		8,229,240
固定負債合計	120,047,715	0	27,976,594	0	148,024,309
負債合計	168,689,737	282,049	42,571,691	0	211,543,477
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
地方公共団体補助金	0	0	124,441,000		124,441,000
指定正味財産合計	0	0	124,441,000	0	124,441,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(124,441,000)		(124,441,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	△ 20,017,467	4,453,115	105,010,818	0	89,446,466
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(89,446,466)		(89,446,466)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	△ 20,017,467	4,453,115	229,451,818	0	213,887,466
負債及び正味財産合計	148,672,270	4,735,164	272,023,509	0	425,430,943

正 味 財 産 増 減 計 算 書
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	378,330	378,328	2
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	53,932	54,366	△ 434
③ 受取会費			
正会員受取会費	8,109,330	8,322,000	△ 212,670
賛助会員受取会費	475,000	688,000	△ 213,000
④ 事業収益			
事業収益	140,000	16,487,660	△ 16,347,660
受託事業収益	0	2,630,000	△ 2,630,000
協賛金収益	266,036	11,718,675	△ 11,452,639
⑤ 販売収益			
売上収益	1,430,004	1,990,772	△ 560,768
販売手数料収益	179,672	1,097,141	△ 917,469
⑥ 受取補助金等			
国庫補助金収益	0	0	0
受取地方公共団体補助金	286,588,782	380,784,195	△ 94,195,413
市委託料等収益	8,913,000	15,071,000	△ 6,158,000
受取民間補助金	0	46,348,076	△ 46,348,076
⑦ 受取負担金収益			
受取負担金収益	28,898,895	32,308,331	△ 3,409,436
⑧ 寄付金収益			
寄付金収益	500,000	300,000	200,000
⑨ 雑収益			
受取利息	938	854	84
雑収益	161,170	325,352	△ 164,182
経常収益計	336,095,089	518,504,750	△ 182,409,661
(2) 経常費用			
① 事業費	211,868,579	396,238,877	△ 184,370,298
② 管理費	129,595,111	119,888,009	9,707,102
経常費用計	341,463,690	516,126,886	△ 174,663,196
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,368,601	2,377,864	△ 7,746,465
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,368,601	2,377,864	△ 7,746,465

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	5	0	5
経常外費用計	5	0	5
当期経常外増減額	△ 5	0	△ 5
当期一般正味財産増減額	△ 5,368,606	2,377,864	△ 7,746,470
一般正味財産期首残高	94,815,072	92,437,208	2,377,864
一般正味財産期末残高	89,446,466	94,815,072	△ 5,368,606
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	378,330	378,328	2
② 一般正味財産への振替額	△ 378,330	△ 378,328	△ 2
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産期末残高	124,441,000	124,441,000	0
III 正味財産期末残高	213,887,466	219,256,072	△ 5,368,606

注 1 収支決算書は、「公益法人会計基準の運用指針」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の正味財産増減計算書に基づき作成している。

正味財産増減計算書内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	378,330	378,330	0	0	0	0	378,330
② 特定資産運用益	0	0	53,932	53,932	0	0	0	0	53,932
③ 受取会費	0	0	4,054,665	4,054,665	0	0	0	0	4,054,665
④ 正会員受取会費	0	0	237,500	237,500	0	0	0	0	237,500
⑤ 賛助会員受取会費	0	0							
⑥ 事業収益	0	140,000	0	140,000	0	0	0	0	140,000
⑦ 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 受託事業収益	266,036	0	0	266,036	0	0	0	0	266,036
⑨ 協賛金収益	0	0	0	0	1,430,004	0	0	0	1,430,004
⑩ 販売収益	0	0	0	0	179,672	0	0	0	179,672
⑪ 売上収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 販売手数料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬ 受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑭ 国庫補助金収益	152,249,548	33,355,000	0	185,604,548	0	7,298,000	0	93,686,234	286,588,782
⑮ 受取地方公共団体補助金	0	8,913,000	0	8,913,000	0	0	0	0	8,913,000
⑯ 市委託料等収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑰ 受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑱ 受取負担金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑲ 受取負担金収益	0	0	0	0	0	0	0	28,898,895	28,898,895
⑳ 寄付金収益	100,000	400,000	0	500,000	0	0	0	0	500,000
㉑ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	938	938
㉒ 受取利息	0	79,750	0	79,750	28,600	0	0	52,820	161,170
㉓ 雑収益	0	42,887,750	4,724,427	200,227,761	1,638,276	7,298,000	0	126,931,052	336,095,089
経常収益計	152,615,584	42,887,750	4,724,427	200,227,761	1,638,276	7,298,000	0	8,936,276	336,095,089

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通		物品販売事業	会員サービス事業	共通				
			小計				小計				
(2) 経常費用											
① 事業費											
給料手当	90,762,364	28,285,509	0	119,047,873	0	7,333,033	0	7,333,033			126,380,906
臨時雇賃金	11,383,321	2,499,770	0	13,883,091	1,511,819	0	0	1,511,819			15,394,910
福利厚生費	15,933,334	4,452,057	0	20,385,391	254,275	1,222,767	0	1,477,042			21,862,433
退職給付費用	3,505,332	1,593,333	0	5,098,665	0	159,333	0	159,333			5,257,998
報償費	1,382,000	294,248	0	1,676,248	0	0	0	0			1,676,248
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0			0
旅費交通費	51,023	96,263	0	147,286	0	0	0	0			147,286
消耗品費	681,847	872,420	0	1,554,267	0	0	0	0			1,554,267
食糧費	2,383	0	0	2,383	0	0	0	0			2,383
印刷製本費	1,133,880	498,064	0	1,631,944	0	0	0	0			1,631,944
光熱水費	395,071	0	0	395,071	0	0	0	0			395,071
通信運搬費	516,490	967,913	0	1,484,403	0	0	0	0			1,484,403
広告費	473,000	0	0	473,000	0	0	0	0			473,000
保険料	1,613,700	182,850	0	1,796,550	0	0	0	0			1,796,550
委託料	20,676,013	88,220	0	20,764,233	0	0	0	0			20,764,233
使用料及び賃借料	4,403,693	815,630	0	5,219,323	0	0	0	0			5,219,323
支払助成金	450,000	0	0	450,000	0	0	0	0			450,000
支払負担金	1,374,508	100,440	0	1,474,948	0	0	0	0			1,474,948
支払手数料	0	44,699	0	44,699	39,933	0	0	39,933			84,632
修繕費	46,800	55,000	0	101,800	0	0	0	0			101,800
原材料費	0	0	0	0	1,238,186	0	0	1,238,186			1,238,186
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0			0
租税公課	20,000	262,242	0	282,242	46,692	0	0	46,692			328,934
雑費	59,473	0	0	59,473	0	0	0	0			59,473
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0			0
リース資産減価償却費	2,726,434	1,239,288	0	3,965,722	0	123,929	0	123,929			4,089,651
什器備品減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0			0

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通			
② 管理費										
役員報酬								13,490,903		13,490,903
給料手当								64,084,489		64,084,489
臨時雇賃金								1,475,825		1,475,825
福利厚生費								10,794,170		10,794,170
退職給付費用								1,115,333		1,115,333
旅費交通費								144,283		144,283
交際費								164,500		164,500
消耗品費								525,062		525,062
印刷製本費								386,012		386,012
光熱水費								492,551		492,551
通信運搬費								938,912		938,912
保険料								0		0
委託料								1,314,445		1,314,445
使用料及び賃借料								30,169,084		30,169,084
支払負担金								298,900		298,900
支払手数料								364,496		364,496
修繕費								0		0
消耗什器備品費								0		0
顧問料								1,365,000		1,365,000
諸会議費								824,433		824,433
リース資産減価償却費								867,501		867,501
什器備品減価償却費								0		0
租税公課								647,516		647,516
雑費								131,696		131,696
経常費用計	157,590,666	42,347,946	0	199,938,612	3,090,905	8,839,062	0	129,595,111	0	341,463,690
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,975,082	539,804	4,724,427	289,149	△ 1,452,629	△ 1,541,062	0	△ 2,664,059	0	△ 5,368,601
基本財産評価損益等										
特定資産評価損益等										
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	△ 4,975,082	539,804	4,724,427	289,149	△ 1,452,629	△ 1,541,062	0	△ 2,993,691	0	△ 5,368,601
当期経常増減額										
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
退職給付引当金減少額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
什器備品除却損	4				4			0	1	5
電話加入権除却損					0			0	0	0
経常外費用計	4	0	0	4	4	0	0	1		5
当期経常外増減額	△ 4	0	0	△ 4	0	0	0	△ 1		△ 5
他会計振替額				0				0		0
当期一般正味財産増減額	△ 4,975,086	539,804	4,724,427	289,145	△ 1,452,629	△ 1,541,062	0	△ 2,664,060	0	△ 5,368,606
一般正味財産期首残高			94,815,072	94,815,072				0		94,815,072
一般正味財産期末残高	△ 4,975,086	539,804	99,539,499	95,104,217	△ 1,452,629	△ 1,541,062	0	△ 2,664,060	0	89,446,466
指定正味財産増減の部										
① 基本財産運用益			378,330	378,330				0		378,330
基本財産受取利息										0
② 一般正味財産への振替額			△ 378,330	△ 378,330				0		△ 378,330
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高			124,441,000	124,441,000				0		124,441,000
指定正味財産期末残高			124,441,000	124,441,000				0		124,441,000
正味財産期末残高	△ 4,975,086	539,804	223,980,499	219,545,217	△ 1,452,629	△ 1,541,062	0	△ 2,664,060	0	213,887,466

注 Ⅰ 収支決算書は、「公益法人会計基準の運用指針」(平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会)の正味財産増減計算書に基づき作成している。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
実地棚卸による最終仕入原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①車両運搬具、什器備品
定率法による減価償却を実施している。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金は、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の売買取引にかかる方法に準じて、会計処理を行っている。
リース資産の減価償却方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
投資有価証券（市債）	210,200,000	0	0	210,200,000
普通預金	0	0	0	0
小 計	220,200,000	0	0	220,200,000
特定資産				
退職給付引当資産	89,274,097	6,821	0	89,280,918
事業振興基金積立資産	7,096,767	711	0	7,097,478
小 計	96,370,864	7,532	0	96,378,396
合 計	316,570,864	7,532	0	316,578,396

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	
投資有価証券（市債）	210,200,000	(114,441,000)	(89,446,466)	-
普通預金	0	(0)	(0)	
小 計	220,200,000	(124,441,000)	(89,446,466)	-
特定資産				
退職給付引当資産	89,280,918	(0)	(0)	(89,280,918)
事業振興基金積立資産	7,097,478	(0)	(0)	(0)
小 計	96,378,396	(0)	(0)	(89,280,918)
合 計	316,578,396	(124,441,000)	(89,446,466)	(89,280,918)

4. 担保に供している資産

担保に供している資産は保有しておりません。

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,331,745	2,331,741	4
リース資産	24,734,160	16,504,920	8,229,240
合 計	27,065,905	18,836,661	8,229,244

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	2,285,712	0	2,285,712
前払金	152,084	0	152,084
立替金	1,007,910	0	1,007,910
合 計	3,445,706	0	3,445,706

7. 保証債務等の偶発債務

特にございません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
さいたま市第13回公募公債	20,200,000	20,630,260	430,260
さいたま市第14回公募公債	200,000,000	201,460,000	1,460,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	さいたま市	0	286,588,782	286,588,782	0	-
合 計		0	286,588,782	286,588,782	0	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	378,330
合 計	378,330

11. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はございません。

12. 重要な後発事象

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当法人においてもイベントの休止を余儀なくされている。

上記の事項は、当法人の翌会計年度の収支の重要な影響を与える可能性があるが、現時点ではその影響を合理的に算定することが困難である。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	133,421,738	6,373,331	0	0	139,795,069

財 産 目 録

令和3年3月31日

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	預金	普通預金	運転資金として	96,986,135
	未収金	売上金等	公益目的事業、収益事業	2,285,712
	立替金	次年度事業分等	公益目的事業、収益事業、法人会計	1,007,910
	前払金	釣銭等	公益目的事業、収益事業、法人会計	152,084
	商品	観光グッズ等	収益事業	191,462
流動資産合計				100,623,303
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	市公募公債	運用益を公益目的事業、管理運営、その他事業の財源としている。	210,200,000
	預金	定期預金	〃	10,000,000
特定資産	退職給付引当資産	定期預金	運用益を退職引当金の財源としている。	77,641,718
		市公募公債	〃	10,000,000
		普通預金	〃	1,639,200
	事業振興基金積立資産	定期預金	運用益を事業振興基金引当金の財源としている。	7,097,478
その他固定資産	什器備品	カメラ、カメラレンズ等	公益目的事業、管理運営、その他事業に使用している。	4
	リース資産	パソコン、複合機等	〃	8,229,240
固定資産合計				324,807,640
資産合計				425,430,943
(流動負債)				
	未払金	社会保険料、事業経費等	公益目的事業、管理運営、その他事業	26,112,058
	未払法人税等	法人税等	管理運営	120,000
	未払消費税等	消費税等	公益目的事業、収益事業、管理運営	0
	預り金	市補助金返還、雇用保険等	公益目的事業、収益事業、管理運営、その他事業	37,287,110
流動負債合計				63,519,168
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員24名に対する退職金引当金	139,795,069
	リース債務	パソコン、複合機等	公益目的事業、管理運営、その他事業に使用している。	8,229,240
固定負債合計				148,024,309
負債合計				211,543,477
正味財産				213,887,466

監 査 報 告 書

公益社団法人さいたま観光国際協会
会 長 筑 波 伸 夫 様

令和3年5月27日

公益社団法人さいたま観光国際協会

監 事 荒 井 伸 夫 印

監 事 井 原 實 印

監 事 鈴 木 孝 印

私たち監事は、令和2年度公益社団法人さいたま観光国際協会の会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 会計監査について、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表及び財産目録等の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

議案第 2 号

事務所の移転について

公益社団法人さいたま観光国際協会の主たる事務所の移転について、次のとおり議決を求める。

目的：氷川参道の二の鳥居に位置する旧大宮図書館に移転することで、周辺の武蔵一宮氷川神社・大宮公園・NACK5スタジアム大宮・大宮盆栽村などの施設を訪れる多くの観光客に対して、周辺施設と連携した新たな賑わいを創出する。

主たる事務所移転先：埼玉県さいたま市大宮区高鼻町 2-1-1

移転の時期：令和 3 年 10 月 12 日とする。

令和 3 年 6 月 23 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会 長 筑 波 伸 夫

議案第 3 号

役員（理事・監事）の選任について

公益社団法人さいたま観光国際協会定款第 2 3 条の規定により、役員（理事・監事）の選任について次のとおり議決を求める。

令和 3 年 6 月 2 3 日提出

公益社団法人さいたま観光国際協会
会 長 筑 波 伸 夫

選任するもの 別紙のとおり

公益社団法人さいたま観光国際協会 役員（理事・監事）名簿

任期：令和3年度の定時総会から令和5年度の定時総会まで

（五十音順）

	役職名	氏名	団体名・役職名	常勤・非常勤
※ 1	理 事	阿久津 基		常勤
2	〃	新井 久夫	岩槻人形協同組合理事長	非常勤
3	〃	新井 康裕	（株）武蔵野銀行地域サポート部長	非常勤
4	〃	池田 一義	さいたま商工会議所 会頭	非常勤
5	〃	泉名 宣男	大宮西口共同ビル（株）代表取締役	非常勤
6	〃	岩渕 均	浦和ロータリークラブ特別理事	非常勤
7	〃	大森 好治	協同組合浦和のうなぎを育てる会	非常勤
8	〃	岡村 彰		常勤
9	〃	金子 義人	浦和交通安全協会会長	非常勤
10	〃	久世 晴雅	（有）久世造花工芸代表取締役	非常勤
11	〃	桑原 一男	（株）クワバラ・パンぷキン代表取締役会長	非常勤
12	〃	小宮 康一郎	岩槻観光委員会委員長	非常勤
13	〃	坂井 貴文	埼玉大学 学長	非常勤
14	〃	染谷 典子	（公財）さいたま市公園緑地協会評議員	非常勤
15	〃	大郷 恒吉	さいたま市浦和商店会連合会長	非常勤
16	〃	高橋 三男	（株）T P C 高橋犬猫病院代表取締役	非常勤
17	〃	多胡 彰	東日本旅客鉄道（株）大宮駅長	非常勤
18	〃	千枝 直人	さいたま市経済局長	非常勤
19	〃	筑波 伸夫	（株）JR東日本アイステーションズ代表取締役社長	非常勤
20	〃	中島 マリ子		常勤
21	〃	中村 隆志	（公財）埼玉県産業文化センター 利用・誘致推進部長	非常勤
22	〃	中村 裕二	国際交流基金日本語国際センター副所長	非常勤
23	〃	橋本 和久	大宮ホテル旅館組合長	非常勤
24	〃	濱野 博美	大宮盆栽協同組合理事長	非常勤
25	〃	東角井 真臣	武蔵一宮氷川神社権宮司	非常勤
26	〃	日野 俊彦	大宮商店街連合会長	非常勤
27	〃	本田 秋満	（一社）さいたまスポーツコミッション常務理事	非常勤
28	〃	宮城 利久	鉄道博物館館長	非常勤
29	〃	山崎 均	与野商店会連合会長	非常勤

	役職名	氏名	団体名・役職名	常勤・非常勤
1	監 事	荒井 伸夫	荒井公認会計士事務所代表	非常勤
2	〃	井原 實	（株）与野フードセンター取締役名誉会長	非常勤
3	〃	鈴木 孝	税理士	非常勤

※は変更の方です。

令和 3 年度

公益社団法人 さいたま観光国際協会

事業計画

I 重点的な取組事項

協会の活動目的である多文化共生社会の実現と、外客誘致による地域経済への波及を目指し積極的に事業を展開する。

- ①新しい生活様式に即した観光イベント事業の見直し
- ②東京オリンピックでの充実した観光情報の提供
- ③東京オリンピックに向けた会員企業・店舗等へのデジタル観光への取組推進
- ④コロナ禍に即したMICE開催支援の強化
- ⑤デリバリー、テイクアウト飲食店支援「#StayHome さいたま」の推進
- ⑥外国人支援事業の体制強化と推進や新しい生活様式に即した国際交流事業の実施
- ⑦さいたま市独自のボランティア活動の協力など東京オリンピックの開催に向けての支援

II 公益目的事業

1 観光等振興事業（公益目的事業1）

■ 観光事業

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業の一部又は全部を中止する場合があります。

（1）イベント事業（64,539 千円）

①主催事業

岩槻城址公園桜まつり

さくら草まつり

大宮薪能

人形のまち岩槻朝顔市

与野夏祭り

浦和まつり（前夜祭・みこし渡御・音楽パレード・浦和おどり）

十日市

十二日まち

さいたまるしえ

②事務局受託事業

ばらまつり

さいたま市花火大会

大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）

(2) MICE誘致事業

①誘致支援事業 (1,838 千円)

コンベンションキーパーソンへのセールス活動の推進
 観光、アトラクション情報等の提供
 観光マップ、観光情報誌、コンベンションバッグ等の提供
 コンベンション開催時におけるポスターの掲出
 コンベンション開催時における土産品販売所・地ビール出店の手配
 会場・観光地等の写真貸出
 インターネットによるコンベンション情報の発信・拡充
 会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充
 その他コンサルティング

②情報収集事業 (312 千円)

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新
 観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

③経済波及効果測定事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

④コンベンション開催助成金制度の実施 (10,000 千円)

コンベンション開催助成金制度の実施
 ポストコンベンション開催助成金制度の実施
 ハイブリッドコンベンション開催助成金制度の実施

本年度予定される主なコンベンション		
日本心エコー図学会第 32 回学術集会	4月23日～25日	ソニックシティ
第 73 回全国高等学校長協会総会・研究協議会	5月18日～20日	ソニックシティ
2021 年度第 3 回 S.E.N.S 年次大会 in 埼玉	6月5日～6日	ソニックシティ
獣医麻酔外科循環器画像診断内視鏡外科 2021 年春季合同学会	6月11日～13日	ソニックシティ
第 26 回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会	6月24日～25日	埼玉会館
第 103 回全国算数・数学教育研究（埼玉）大会	8月19日～22日	埼玉会館他
小学校英語教育学会(JES)関東・埼玉大会	10月9日～10日	埼玉大学
第 53 回日本 PTA 関東ブロック研究大会埼玉大会	10月15日～16日	さいたま市文化センター
2021 年障害者問題全国交流会 in 埼玉	10月21日～22日	ホテルプリランテ武蔵野他
IS-PALD2021(レーザー動力学の物理学と応用)	10月26日～28日	ソニックシティ
第 53 回全国公立小中学校事務研究大会埼玉大会	1月27日～28日	埼玉会館他

(3) 誘客事業

①誘客・プロモーション活動 (9,021 千円)

広報誌・Web 上での観光プロモーションの実施
マイクロツーリズム時代に即した、動画・Web での街歩きコースの紹介
テレビ、新聞・タウン誌、Web 等の取材対応
プレスリリースによる情報提供
デリバリー、テイクアウト飲食店支援「#StayHome さいたま」の推進
ご当地グルメなどの紹介
大宮盆栽プロモーション、海外からの訪問受け入れ
インバウンド事業の推進
秩父観光協会・小江戸川越観光協会等との連携事業
各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

②インターネットによるシティセールス (1,357 千円)

ホームページ及びブログ「もぎたてさいたま情報」による国内外への誘致・PR
訪日観光客向け多言語サイトによる誘客と市内周遊の促進
ツイッター、Facebook、Instagram などソーシャルネットワークを活用した、観光情報発信

③観光振興事業 (9,169 千円)

デジタル観光活用への会員企業への啓発事業の開催
地域観光振興事業・団体等への助成、支援
花の名所の維持管理
観光ボランティア団体との連携
さいたま市産業振興ビジョン実現に向けた協力
さいたま市の東日本連携事業への協力・参加

(4) 販売事業

推奨土産品の広報、販売経路の拡充

(5) その他

既存の観光イベントの見直し・統廃合の検討

■ 観光案内所運営事業

(1) 観光案内所等の管理運営 (29,991 千円)

大宮駅観光案内所 (JR 大宮駅東西自由通路内)、さいたま新都心観光案内所 (JR さいたま新都心駅東西自由通路内)、浦和観光案内所 (アトレ浦和内)、岩槻観光案内所 (東武岩槻駅自由通路内) の運営

- ・観光案内業務
- ・各種パンフレット配布業務
- ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

2 多文化共生、国際相互理解促進事業（公益目的事業2）

■ 国際交流事業

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、事業の一部又は全部を中止する場合があります。

（1）国際推進事業（17,352 千円）

多言語生活相談

ボランティア（通訳・翻訳、ホストファミリー、イベント）派遣事業

外国人への日本語支援事業

外国人市民に向けた地域・生活情報の提供（多言語生活情報誌「ぶらら」の発行）

国際友好フェア・国際ふれあいフェア

外国人による日本語スピーチ大会

姉妹友好都市交流支援

オンライン交流やPRを通じた新たな国際推進事業の実施

（2）国際交流事業（3,690 千円）

国際交流センター情報誌発行

ボランティア養成

さいたま市独自のボランティア活動の支援

ユース国際ボランティア・次世代育成セミナー

日本語国際センター研修生との交流

国際交流会（はじめましての会・着物着付け体験会）

ホームビジット

異文化交流のための語学講座

ぷらっとサロン企画事業（ミニ講座・サロン展示・おしゃべりサロン）

外国人市民への子育て支援

コムナーレ各施設との連携事業

海外都市訪問団受入

オンライン交流やPRを通じた新たな交流事業の実施

（3）国際協力事業（143 千円）

さいたま市国際 NGO ネットワーク等、国際協力団体との連携事業

Ⅲ 収益事業等

1 物品販売事業 (1,833 千円)

- (1) 観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務
- (2) その他、自主財源の確立に向けた取組
観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

2 その他

- (1) 情報収集事業
観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集
大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換
- (2) 会員サービス事業
会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成
功労者表彰制度の実施
会員特典内容の拡充
会員向けセミナーの開講
- (3) 安全衛生管理事業
職員の安全と健康の確保
- (4) その他
旧大宮図書館への事務所移転（2021年秋頃移転予定）

令和3年度 収支予算書(損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	377,000	377,000	0
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	55,000	55,000	0
③ 受取会費			
正会員受取会費	8,500,000	9,000,000	△ 500,000
賛助会員受取会費	600,000	700,000	△ 100,000
④ 事業収益			
事業収益	4,055,000	17,749,000	△ 13,694,000
受託事業収益	2,100,000	2,330,000	△ 230,000
協賛金収益	5,520,000	11,374,000	△ 5,854,000
⑤ 販売収益			
売上収益	1,531,000	1,522,000	9,000
販売手数料収益	623,000	623,000	0
⑥ 受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	409,574,000	378,783,000	30,791,000
市委託料等収益	13,217,000	16,972,000	△ 3,755,000
受取民間補助金	0	180,000	△ 180,000
⑦ 受取負担金収益			
受取負担金収益	29,593,000	31,500,000	△ 1,907,000
⑧ 寄付金収益			
寄付金収益	1,000	1,000	0
⑨ 雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	174,000	175,000	△ 1,000
経常収益計	475,921,000	471,342,000	4,579,000
(2) 経常費用			
① 事業費	304,782,000	363,670,486	△ 58,888,486
② 管理費	183,291,000	127,767,514	55,523,486
経常費用計	488,073,000	491,438,000	△ 3,365,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 12,152,000	△ 20,096,000	7,944,000
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 12,152,000	△ 20,096,000	7,944,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産取得支出	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 12,152,000	△ 20,096,000	7,944,000
一般正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
一般正味財産期末残高	87,848,000	79,904,000	7,944,000
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	422,791,000	395,935,000	26,856,000
② 受取負担金	0	0	0
③ 受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 422,791,000	△ 395,935,000	△ 26,856,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	124,441,000	124,441,000	0
指定正味財産期末残高	124,441,000	124,441,000	0
III 正味財産期末残高	212,289,000	204,345,000	7,944,000

注 1 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の正味財産増減計算書に基づき作成している。

令和3年度 収支予算書内訳表 (損益ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	観光振興事業	国際交流事業	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通			
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用収益	0	0	377,000	0	0	0	0	0	377,000
基本財産受取利息									
② 特定資産運用収益	0	0	55,000	0	0	0	0	0	55,000
特定資産受取利息									
③ 受取会費	0	0	4,250,000	0	0	0	4,250,000	0	8,500,000
正会員受取会費									
賛助会員受取会費									
④ 事業収益	2,274,000	1,781,000	0	4,055,000	0	0	0	0	4,055,000
事業収益									
受託事業収益	2,100,000	0	0	2,100,000	0	0	0	0	2,100,000
協賛金収益	5,520,000	0	0	5,520,000	0	0	0	0	5,520,000
⑤ 販売収益	0	0	0	1,531,000	0	0	1,531,000	0	1,531,000
売上収益									
販売手数料収益	0	0	0	623,000	0	0	623,000	0	623,000
⑥ 受取補助金等	218,584,813	36,360,000	0	254,944,813	0	7,660,000	146,969,187	0	409,574,000
受取地方公共団体補助金									
市委託料等収益	0	13,217,000	0	13,217,000	0	0	0	0	13,217,000
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 受取負担金収益	1,560,000	0	0	1,560,000	0	0	28,033,000	0	29,593,000
受取負担金収益									
⑧ 寄付金収益	0	1,000	0	1,000	0	0	0	0	1,000
寄付金収益									
⑨ 受取利息	0	1,000	0	1,000	0	0	0	0	1,000
雑収益	63,000	40,000	0	103,000	0	1,000	50,000	0	174,000
経常収益計	230,101,813	51,400,000	4,982,000	286,483,813	2,174,000	7,661,000	179,602,187	0	475,921,000
(2) 経常費用									
① 事業費	85,932,000	31,584,000	0	117,516,000	0	6,539,000	6,539,000	0	124,055,000
給料手当									
臨時雇賃金	12,404,000	5,533,000	0	17,937,000	1,068,000	0	1,068,000	0	19,005,000
福利厚生費	14,995,000	5,149,000	0	20,144,000	10,000	0	1,131,000	0	21,275,000
退職給付費用	3,239,000	938,000	0	4,177,000	0	225,000	225,000	0	4,402,000
報償費	8,408,000	2,694,000	0	11,102,000	0	0	0	0	11,102,000
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	1,142,000	1,068,000	0	2,210,000	0	0	0	0	2,210,000
消耗品費	3,585,000	2,947,000	0	6,532,000	100,000	0	100,000	0	6,632,000
食糧費	30,000	315,000	0	345,000	0	0	0	0	345,000
印刷製本費	5,589,000	760,000	0	6,349,000	0	0	0	0	6,349,000
光熱水費	373,000	0	0	373,000	0	0	0	0	373,000
通信運搬費	1,589,000	1,746,000	0	3,335,000	48,000	0	48,000	0	3,383,000
広告費	1,611,000	0	0	1,611,000	0	0	0	0	1,611,000
保険料	1,613,000	346,000	0	1,959,000	0	0	0	0	1,959,000
委託料	64,442,000	6,169,000	0	70,611,000	20,000	0	20,000	0	70,631,000
使用料及び賃借料	5,360,000	1,700,000	0	7,060,000	120,000	0	120,000	0	7,180,000
支払助成金	16,150,000	0	0	16,150,000	0	0	0	0	16,150,000
支払負担金	295,000	109,000	0	404,000	0	0	0	0	404,000
手数料	0	109,000	0	109,000	95,000	0	95,000	0	204,000
雑費	278,000	0	0	278,000	0	0	0	0	278,000
修繕費	300,000	55,000	0	355,000	0	0	0	0	355,000
原材料費	450,000	0	0	450,000	1,300,000	0	1,300,000	0	1,750,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	20,000	671,000	0	691,000	150,000	0	150,000	0	841,000
リース資産減価償却費	2,680,000	1,340,000	0	4,020,000	134,000	134,000	268,000	0	4,288,000
什器備品減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0

18,689,000

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計	
	観光振興事業	国際交流事業	共通	小計	物品販売事業	会員サービス事業	共通	小計				
② 管理費	役員報酬									13,725,000		13,725,000
	給料手当									60,707,000		60,707,000
	臨時雇賃金									1,542,000		1,542,000
	福利厚生費									12,398,000		12,398,000
	退職給付費用									2,478,000		2,478,000
	旅費交通費									500,000		500,000
	交際費									800,000		800,000
	消耗品費									858,000		858,000
	印刷製本費									980,000		980,000
	光熱水費									1,230,000		1,230,000
	通信運搬費									1,468,000		1,468,000
	保険料									0		0
	委託料									38,990,000		38,990,000
	使用料及び賃借料									36,048,000		36,048,000
	支払手数料									637,000		637,000
	支払負担金									371,000		371,000
	修繕料									180,000		180,000
	消耗什器備品費									3,000,000		3,000,000
	顧問料									2,355,000		2,355,000
	諸会議費									1,887,000		1,887,000
	リース資産減価償却費									670,000		670,000
	什器備品減価償却費									0		0
	租税公課									2,325,000		2,325,000
雑費									142,000		142,000	
経常費用計	230,485,000	81,922,000	0	293,718,000	3,045,000	8,019,000	0	11,064,000	183,291,000	0	488,073,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 383,187	△ 30,522,000	4,982,000	△ 7,234,187	△ 871,000	△ 358,000	0	△ 1,229,000	△ 3,688,813	0	△ 12,152,000	
基本財産評価損益等												
特定資産評価損益等												
投資有価証券評価損益等												
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 383,187	△ 30,522,000	4,982,000	△ 7,234,187	△ 871,000	△ 358,000	0	△ 1,229,000	△ 3,688,813	0	△ 12,152,000	
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用												
固定資産取得支出									0	0	0	
経常外費用計					0				0	0	0	
当期経常外増減額		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額	383,187	30,522,000	△ 35,823,000	△ 4,917,813	871,000	358,000			1,229,000	3,688,813	0	△ 12,152,000
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 30,841,000	△ 12,152,000	0	0	0	0	0	0	0	△ 12,152,000
一般正味財産期首残高			100,000,000	100,000,000								100,000,000
一般正味財産期末残高	0	0	69,159,000	87,848,000	0	0	0	0		0	0	87,848,000
II 指定正味財産増減の部												
① 受取補助金等	218,584,813	49,577,000		268,161,813		7,660,000			7,660,000	146,969,187		422,791,000
② 受取負担金				0		0			0	0		0
③ 受取寄付金				0		0			0	0		0
一般正味財産への振替額	△ 218,584,813	△ 49,577,000		△ 268,161,813		△ 7,660,000			△ 7,660,000	△ 146,969,187		△ 422,791,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			124,441,000	124,441,000								124,441,000
指定正味財産期末残高			124,441,000	124,441,000								124,441,000
正味財産期末残高	0	0	193,600,000	212,289,000	0	0	0	0	0	0	0	212,289,000

注 1 収支予算書は、「公益法人会計基準の運用指針」（平成20年4月11日 内閣府公益認定等委員会）の正味財産増減計算書に基づき作成している。

事業 年度	自	令和 3 年 4 月 1 日	法人コード	A022693
	至	令和 4 年 3 月 31 日	法人名	公益社団法人 さいたま観光国際協会

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

借入れの予定		なし	
事業番号	借入先	金額	使途
		円	

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含み。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

設備投資の予定		なし	
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入 の予定額	資金調達方法又は取得資 金の使途
		円	

令和3年度 公益社団法人さいたま観光国際協会功労者表彰

観光・コンベンション

(五十音順・敬称略)

	氏名	年齢	住所	略歴	関係 年数	推薦者	功績
1	いしはら まさる 石原 勝	82	岩槻区	岩槻観光ボランティアガイド会 岩槻地方史研究会 岩槻観光ボランティアガイド会会長 H15. 4- H15. 4- H26. 4-H31. 3	18	岩槻観光ボランティアガイド会 会長 三ツ元一郎	岩槻地方史研究会で得た知識を加味して、来客者に対して岩槻の正しい歴史伝え、史跡のガイドを行い岩槻の観光振興に寄与。また、岩槻区発行のガイドブックの編集にも参加して大きく岩槻に貢献された。
2	おやまだ つとむ 小山田 力	56	南区	浦和まつり南浦和会場 副実行委員長 H15. 6- (現職)	18	南浦和商店会 会長 新保信義	浦和まつり南浦和会場の実行委員として「浦和よさこい」を設立し、現在も副実行委員長として地域発展の為に尽力されている。
3	かわたし しょういち 河田 捷一	83	見沼区	見沼くらしっく館社会教育指導員 大宮郷土史研究会 会長 大宮観光ボランティアガイド会 会長 H10. 4-H13. 3 H14. 4-H27. 3 H23. 3-R1. 5	23	大宮観光ボランティアガイド会 会長 山田好司	市観光政策課から「大宮観光ボランティアガイド会」の設立の要請を受け、浦和並びに岩槻のガイド会のアドバイス等の協力を受け設立。大宮郷土史研究会で培った地域史などを活用し、大宮区コミュニティ課等と連携を図りながら活動に取り組み観光振興に寄与された。
4	こいけ としこ 小池 敏子	79	桜区	日本民謡公認4級取得 日本民謡公認3級取得 H17. 9 H25. 7	16	さいたま市浦和民謡連盟 会長 新藤照子	さいたま市浦和民謡連盟の役員として、また連盟の経理・指導者として会員の指導を担当し民謡の普及に尽力されると共に、「さくら草まつり」「浦和まつり」等観光事業の重要性も理解され、さいたま市の観光事業にも参加協力している。
5	こみや あきら 小宮 彰	71	岩槻区	つるやビル管理 代表 岩槻観光委員会 朝顔市担当 岩槻観光委員会 副委員長 S50. 12- (現職) H17. 9- (現職) R2. 4- (現職)	15	岩槻観光委員会 委員長 小宮康一郎	岩槻観光委員会の「朝顔市」担当として企画・運営に積極的に取り組むほか、「人形のまち岩槻まつり」や「元荒川和蛤まつり」の実行委員会委員として事業の立ち上げに従事し、主要メンバーとして企画・運営に参画し岩槻の観光振興に寄与されている。
6	すずき ただし 鈴木 惟司	75	岩槻区	宮城県石巻市武山木工所 修業 東京和田建具店 勤務 岩槻にて鈴木建具店を創業 S35. 4-S40. 3 S40. 4-S47. 9 S47. 10-R3. 4	48	(株)東玉 代表取締役 戸塚大介	城下町岩槻のシンボル「時の鐘」の精緻な模型とそれを収めるショーケースを三組制作し、岩槻駅などに設置し岩槻の観光に尽力。また、紙芝居の舞台(株)を合計30台作り、図書館・さいたま市等へ寄贈するほか、岩槻ネギ(古典落語のたからねに登場)の栽培と品種改良に取り組む20年。岩槻の名産を通して岩槻の観光に貢献された。
7	とつか たかし 戸塚 隆	80	岩槻区	(株)東玉 S63-社長 現在取締役会長 岩槻観光協会 副会長 岩槻観光委員会 副委員長 S38. 4- H5-H17 H17-R2. 3	26	岩槻観光委員会 委員長 小宮康一郎	平成元年に城下町時代の旧跡名称の石柱の設置を岩槻市に提案し完成させる。また、その後平成17年には「通り名」の看板を各町内に掲示設置する事業の中心人物として取り組まれた。現在、看板は、さいたま市の協力を得て観光案内看板として追加や補修が行われるなど今に継承されている。人形のまちならではの「流しびな」「人形のまち岩槻まつり」「人形供養祭」に長年取り組む、現在「五節句のまち岩槻」づくりのチームの一員でもある。多数の観光客を集めている岩槻の代表的なイベント「人形のまち岩槻まちかど雛めぐり」を企画立案し、実行委員会の設立に大きく寄与された。
8	なかむら けんじ 中村 賢司	46	南区	浦和まつり南浦和会場 副実行委員長 南浦和商店会青年部長 H15. 6- (現職) H27. 4- (現職)	18	南浦和商店会 会長 新保信義	南浦和商店会「愛興商事」として会員歴6年以上青年部長として商店会の各種行事を取りまとめている。また、浦和まつり南浦和会場の副実行委員長として「浦和よさこい」を設立し、現在も副実行委員長として地域発展の為に尽力されている。
9	にしかわ かずよし 西川 和良	46	浦和区	料亭玉屋 入社 H30. 9-代表 H16. 12- (現職)	17	合資会社 玉家 役員 西川寛子	昭和2年創業の料亭「玉屋」に入社し、代々続くのれんを守るために工夫を重ね、ドラマのロケ地 (TBS半沢直樹など) の誘致や、宴席 (キューベ共和国特命全權大使ミゲル・A・ラミネス夫妻の就任祝い) を行うなど観光振興や国際交流に寄与されている。
10	ほりぐち たけし 堀口 猛	83	大宮区	DOM専門店街協同組合 理事長 大宮商店街連合会 副会長 H10. 6-H29. 9 H10. 6-R3. 3	22	大宮商店街連合会 会長 日野俊彦	DOM専門店街理事長・大宮商店街連合会副会長として、より良いまちになるよう地域のイベント等に積極的に協賛協力を行う他、桜木町2丁目1区の神輿の責任者を歴任するなど観光振興に寄与された。

令和3年度 公益社団法人さいたま観光国際協会功労者表彰

国際交流・国際協力		功績				(五十音順・敬称略)	
氏名	年齢	住所	略歴	関係 年数	推薦者	功績	
1 おおさこ ひろお 大迫 裕男	84	緑区	SS5、4-H13、3 H2、4-R3、3 第一商事(株) 取締役・監査役 外国人119ネットワーク設立 事務局長	31	さいたま市国際NGO ネットワーク 副代表 利根川恵子	さいたま市国際NGOネットワークの設立から役員を務め、平成29年から代表に就任しさいたま市における多文化共生社会の実現に多大なる貢献をした。市民の学びと交流の場となる「わくわく国際フェスタ」の開催や外国籍市民への多言語情報提供を目的とするウエルカムバックの配布など同ネットワークの事業を中心となって推進した。	
2 まちだ しょうじ 町田 章司	78	緑区	尾間木サッカースポーツ少年団 監督 さいたま市南部少年サッカー指導者協議会/サッカー部会 会長	20	(公社) さいたま 観光国際協会 国際交流センター 運営委員会 中島マリ子	トルーカ市とのサッカー少年団の派遣・受入事業に対して長年のご協力をいただき、国際交流センター事業では、平成29年から「姉妹・友好都市交流事業」の事業スタッフとして活躍されている。	
3 まつお きょうこ 松尾 恭子	66	三芳町	SS3- H13-H14 H16-H24 (公社) 国際日本語普及会 埼玉県国際交流協会 アジア福祉教育財団	15	(公社) さいたま 観光国際協会 国際交流センター 運営委員会 中島マリ子	当初から国際交流センターでの在住外国人への日本語支援に協力をいただき、平成29年から「にほんごのへや」事業スタッフで活躍されるほか、アドバイザーとして尽力されている。	

